

The I-PRO Traveller

part no. 11440



I-PRO Travellerをお買い上げいただきありがとうございます。組み立てる前に本説明書をお読みください。

使用には最低でも長さ **8m** の同軸ケーブル(**50 オーム系**)が必要です。M型コネクタで末端処理されている必要がありますが、バランは不要です。SWRが測定できる計器も必要です。

以下は製品を長くお使いいただくための重要な点です。中央のマッチングセクションは丁寧に取り扱いってください。無理な力を加えるとチューブの表面を損傷する可能性があります。組み立てにあたっては以下の写真をご覧になりながら作業を進めてください。正しい取り扱いをすれば無理な力を加える必要はないはずです。

ステップ 1

四本足のベースのセッティングは非常に簡単です。水準器を垂直になるよう取り付けてください。風が強く吹く場合、それぞれの足のノブを強く締め付けてください。

また、風が強い場所に設置する場合、ナイロンロープなどで**3方向**にステーをとることをお勧めします。ステーを取り付ける場所は**8mm** サポートロッドの上、**10mm** のところがベストです。アンテナ上部と下部には物が触れないように注意してください。

ステップ 2

サポートロッドをセンターセクションのマッチング機構の上部に取り付けてください。2つのバーチカルセクション (キャパシティハット部) は全く同一です。この一つをセンターセクションに取り付けてください。



WiMo Antennen und Elektronik GmbH

Am Gäxwald 14, D-76863 Herxheim Tel. (07276) 96680 FAX 9668-11

<http://www.wimo.com>

e-mail: info@wimo.com

ステップ 2 続き

もう一方のバーチカルセクションをベース部のファイバチューブ部分に取り付けてください。

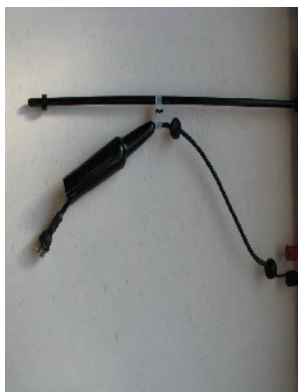


そして、先に組み立てたセンターセクションと上部のバーチカルセクションを取り付けてください。固定で使用される場合、ネジ留めを確実にこなってください。

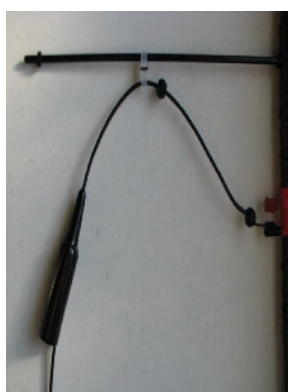
ステップ 3

パッチケーブルの準備

-1-



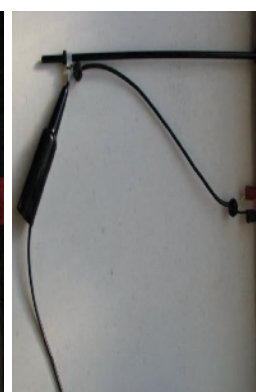
-2-



-3-



-4-



保護用のコネクタブーツを、M型コネクタが現れるまで後ろに下げ(写真1)、給電用の同軸ケーブルを接続します。コネクタブーツをコネクタが隠れるまで戻します(写真2)。パッチケーブルを吊るクリップをサポートロッドの端まで移動させます(写真3)。パッチケーブルのプラスチックの留め具を、ボタンを押しながら、クリップのところまで移動させます(写真4)。このようにすれば、ケーブルが動いても、無理な力が加わらないはずです。サポートロッドの端にあるゴムの留め具を少し中央部に移動させて微調整できます。

-2-

WiMo Antennen und Elektronik GmbH

Am Gäxwald 14, D-76863 Herxheim Tel. (07276) 96680 FAX 9668-11

<http://www.wimo.com>

e-mail: info@wimo.com

ステップ 4

マッチングと大地の導電率について

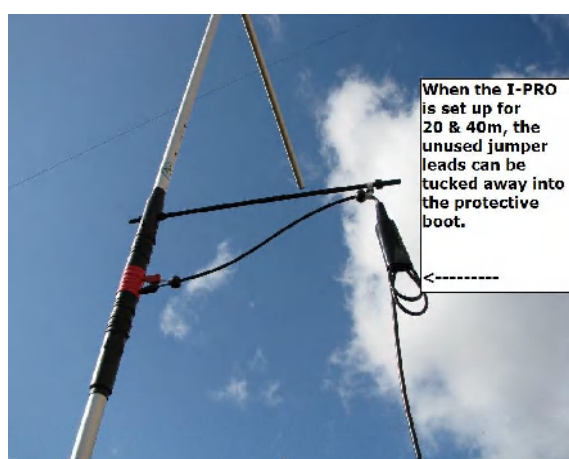
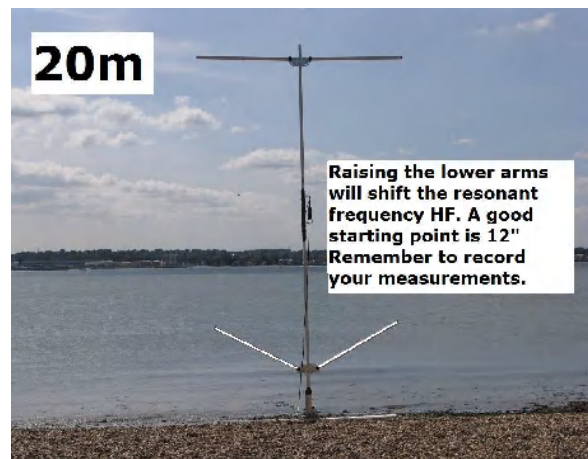
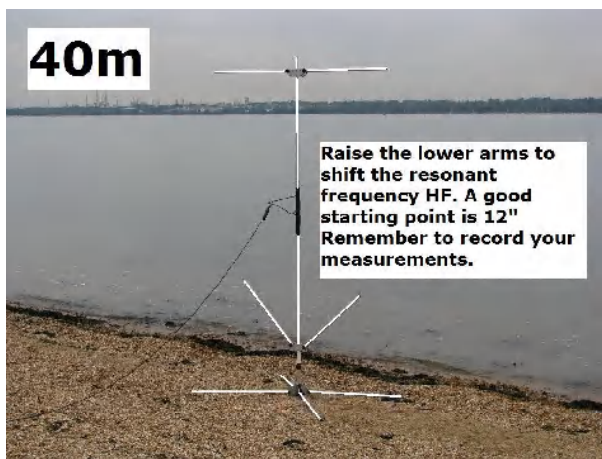
I-PRO の共振周波数は設置した大地の導電率に影響されます。海面のすぐそばで使用した場合、共振周波数は 100Khz ほど低くなります。これは予測できることであり、補正可能です。下側のキャパシティハットを上を持ち上げれば、共振周波数は高くなります。どのくらい持ち上げればよいか、次回以降の運用のために記録しておいてください。

なお、サポートロッドと同軸ケーブルの角度は約 45 度になるようにしてください。

バンド切り換え

バンド切り換えについては、付属のラミネートカードをご覧ください。

運用上のコツ



左上、右上：アンテナの共振周波数の調整は下側のキャパシティハットの角度で調整してください。
左下：水準器をマストに沿わせることができます。
右下：20m バンドで運用する場合、使わないパッチコードはコネクタブーツの中に収納してください。

SWR1.5 以上の場合、ハイパワーで運用しないでください。200W 程度の運用の場合、SWR2.5 ぐらいまでの mismatch なら、アンテナチューナーで補正できます。それ以上の悪条件の場合、アンテナチューナーの併用による運用であっても避けてください。言うまでもないことですが、共振周波数に近い周波数での運用が効率を上げ、同軸ケーブルによるロスを少なくします。

安全のために

アンテナの周囲では高い電界が発生することに留意してください。人が集まる場所での運用に際しては、人がアンテナに近づかないよう十分に注意してください。

メンテナンス

接触不良を起こさないよう注意ください。固定用アンテナで使用される場合、定期的に可動部の曲げ伸ばし・注油、コンタクトグリス・防食剤の塗布などを行ってください。

定格

耐入力：

マルチバンド I-PRO：

1200 Watt PEP

40m I-PRO：

1000 Watt PEP

マルチバンド I-PRO 使用可能バンド：

20, 17, 15, 12, 11 および 10m

キャパシティハット長：

1700mm

収納寸法：

200 x 200 x 1000 mm

全高：

3m (マルチバンド I-PRO)、3m (40m I-PRO)

重量：

6.6 kg

WiMo Antennen und Elektronik GmbH

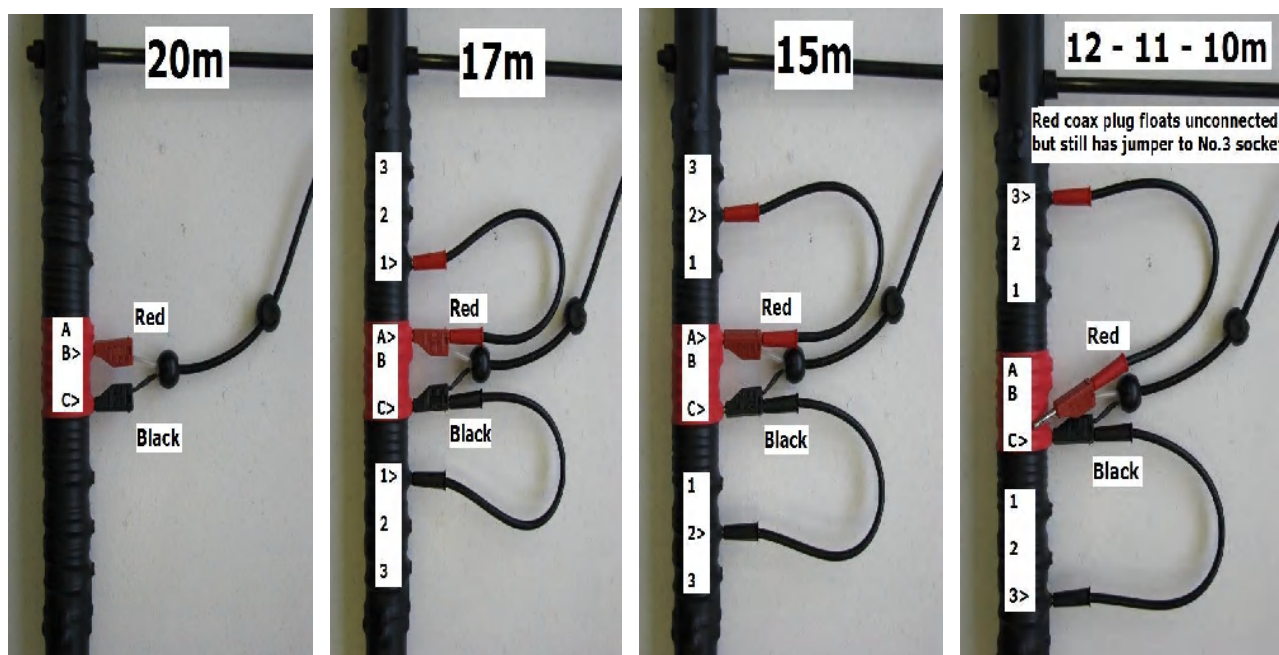
Am Gäxwald 14, D-76863 Herxheim Tel. (07276) 96680 FAX 9668-11

<http://www.wimo.com>

e-mail: info@wimo.com

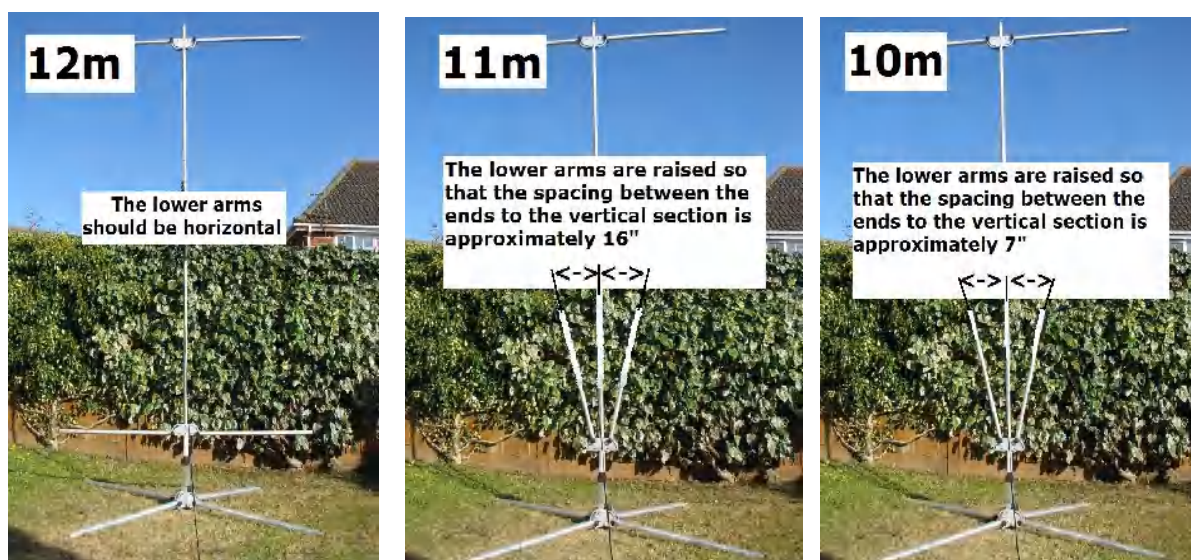
マルチバンド I-PRO での接続方法

サポートロッドはコネクタの上にくるようにしてください。



*20m バンドから上のバンドに移動する場合、赤のプラグの挿入位置が変わることに注意してください。

マルチバンド I-PRO で 11m, 10m バンドを運用する場合、下側のアームを上を上げてください。



WiMo Antennen und Elektronik GmbH

Am Gäxwald 14, D-76863 Herxheim Tel. (07276) 96680 FAX 9668-11

<http://www.wimo.com>

e-mail: info@wimo.com

I-PRO TRAVELLER

パッキングチェックリスト

- 2 x バーチカルセクション (折り曲げ可能なキャパシティハット付き)
- 1 x センターセクション
- 1 x パッチケーブル、ジャンパーケーブル 2 本 (赤/黒)
- 1 x 4 本足付きベース、バッグ保護用梱包材
- 1 x 説明書
- 1 x バンド切り換え説明書 (ラミネート加工)
- 1 x スペアキット (スペアノブ1個、ネジ2個[センターセクション用]、スペアネジ1個)
- 1 x 収納袋

WiMo Antennen und Elektronik GmbH

Am Gäxwald 14, D-76863 Herxheim Tel. (07276) 96680 FAX 9668-11

<http://www.wimo.com>

e-mail: info@wimo.com